

令和2年第2回

中部知多衛生組合議員連絡会議

会 議 録

中部知多衛生組合



◎説明のため出席した者の職氏名

管 理 者	伊 藤 辰 矢
副 管 理 者	榑 原 純 夫
副 管 理 者	紉 山 芳 輝
副 管 理 者	山 田 朝 夫
半 田 市 副 市 長	堀 寄 敬 雄
武 豊 町 副 町 長	永 田 尚 子
会 計 管 理 者	柴 垣 光 弘
場 長	齋 田 充
主 任	石 川 収
半 田 市 市 民 経 済 部 長	滝 本 均
武 豊 町 生 活 経 済 部 長	竹 内 誠 一
常 滑 市 環 境 経 済 部 次 長 兼 生 活 環 境 課 長	浜 島 靖
半 田 市 ク リ ー ン セ ン タ ー 所 長	加 藤 明 弘
武 豊 町 生 活 経 済 部 次 長 兼 環 境 課 長	篠 崎 良 一
常 滑 市 生 活 環 境 課 長 補 佐	赤 井 成 寿

◎ 議会事務局職員の出席者

書 記 都 筑 徹



業務」にて作成した、施設に求められる処理性能などを示した「性能発注方式の発注仕様書」により、令和2年5月22日に事後審査型制限付一般競争入札を行い、同月29日に水ingエンジニアリング株式会社中部支店と仮契約を締結しました。議会の議決を要する契約のため、本日開催されます組合議会定例会に付議するものでございます。事業費予算額は、税込み21億4千7百87万1千円、仮契約金額は、税込み20億2百万円、工事期間は議会の議決を得まして、本契約に移行した日から令和4年2月28日まででございます。次の表は、整備工事の概要を整理したもので、処理能力は、現在の1日当たり、し尿150キロリットル、浄化槽汚泥70キロリットル、計220キロリットルから、今回の整備工事で、し尿13キロリットル、浄化槽汚泥138キロリットル、計151キロリットルにいたします。改修整備における1日当たりの処理量は、平成30年度に「延命化基本設計業務」において算定しており、「汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領2006改訂版」に「稼働年度から7年後までの計画処理量のピーク年におけるし尿処理が適切に行われるよう配慮し計画を設定すること」とされていることから、計画処理量のピークから算定したものです。処理方式は、現在の標準脱窒素処理方式による生物処理から、前処理、前脱水方式とし、放流先は河川放流から下水道放流とします。脱水汚泥は、現在、組合施設内で焼却処理しておりますが、今回の整備工事で焼却施設を廃止・撤去し、助燃剤として知多南部広域環境センターへ搬出します。（2）施設整備工事施工監理業務委託は、循環型社会形成推進交付金事業として、前段の（1）し尿処理施設（汚泥再生処理センター）整備工事において、発注仕様書に示した性能が確保され、整備工事の設計施工が適切に行われるよう、し尿処理施設の知識を有する第三者に施工監理を委託するものです。令和2年5月22日に指名競争入札を行い、同月29日に「中日本建設コンサルタント株式会社」と契約を締結いたしました。事業費予算額は、税込み2千3百8万9千円、契約金額は、税込み2千79万円、委託期間は令和2年5月29日から令和4年2月28日まででございます。（3）放流管渠布設工事は、令和元年度の「施設整備工事発注支援業務」で作成した実施設計書等を基に、当施設から武豊町下水道接続点までの放流管渠布設工事を単独事業として実施いたします。施工箇所は、次の図面、資料3ページ、資料1の赤色実線部分になります。業者選定につきましては、令和2年7月に指名競争入札を行う予定でございます。事業費予算額は、税込み7千7百33万円、施工延長は791メートル、工事期間は、契約締結日から令和3年2月28日までを予定しております。次に4事業費でございます。令和2年度当初予算時点での施設整備工事に関する事業費について、事業費とその内訳、財源内訳について表に整理したものです。最後に、5今後のスケジュールでございます。既設放流管の撤去等について、令和2年度に武豊町と協議を行い、撤去等に関する施工方法を決定し、武豊町との協議を踏まえて令和3年度に実施設計

